

50. 240SSBモバイルグループミニコミ誌発行第100号！！

J A 1 F Y Q / 佐藤

50. 240SSBモバイルグループミニコミ誌発行第100号発行おめでとう御座います。発行当初は何十部と印刷をするために各局から送られてきた原稿を熟読し、そのまま記事に印刷する場合と修文することを原稿筆者に許可を得て修文した原稿を印刷するようにしていたと思います。砂川学習館（当時は砂川公民館）の印刷機をお借りして数名のボランティアの各局と印刷し、封筒を用意し住所・氏名を記入したラベルを貼り、郵便局に持って行き発送していました。

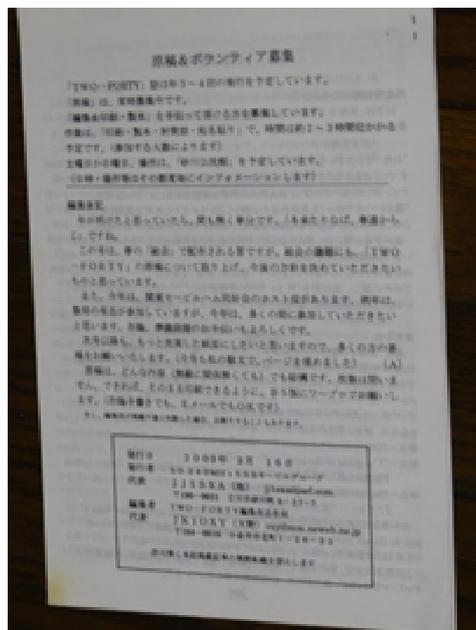
これらの原稿は、J J 1 S X A局が修文や印刷するための割り振りや表紙、各ページの整理整頓等々を大変な苦勞されて印刷原稿を作っていました。

印刷はJ H 1 D X J（平野OM）が担当し、私はD X J局の助手をしたり結構いい加減なことしかしていないようだったと思います。

原稿は当時も今も同じだと思いますが、J J 1 S X A（池OM）局にメールで送るかU S Bスティックメモリ等を送るか直接手渡しで原稿を届けていました。

今は印刷する事や封筒入れ等の作業が無くなり、ホームページの中に入っているの、ボランティア各局との顔合わせの機会も総会、技術講習会と忘年会だけになってしまいました。後は毎月第1土曜日の夕食会です。この夕食会も、最近J G 1 P W S（高橋OM）局が参加して頂き、1局増えたのでとてもうれしく思っています。

先日、いつも開けることが無い整理タンスを開けて忘れ物探しをしていたら、なんと15年前（平成15年3月16日発行第55号）のTWO-FORTY誌を発見しました。何でこんな所にTWO-FORTY誌が有るんだろうと、忘れ物探しを忘れてしばし中を見入っていました。表紙には集合写真が有り、若く（50歳台から60歳台）してサイレントキーになられた局長さんやアマチュア無線から離れていった局長さん達の顔も見られ、何だか懐かしい思いと寂しさが心を過ぎりました。



* 編集者註：上図は、次ページ以降にリンクしました（図不鮮明のため）

50.



第 55 号

平成 15 年 3 月 16 日

■ 50.240MHz SSB によるモービルハム愛好家のためのミニコミ紙 ■

TWO-FORTY

2002年忘年会

2002年12月1日 於；青山荘



原稿&ボランティア募集

「TWO-FORTY」誌は年3～4回の発行を予定しています。

「原稿」は、常時募集中です。

「編集&印刷・製本」を手伝って頂ける方を募集しています。

作業は、「印刷・製本・封筒詰・宛名貼り」で、時間は約2～3時間位かかる予定です。(参加する人数によります)

土曜日か日曜日、場所は、「砂川公民館」を予定しています。

(日時・場所等はその都度毎にインフォメーションします)

編集後記

年が明けたと置いていたら、間も無く春分です、「冬来たりなば、春遠からじ」ですね。

この号は、春の「総会」で配布される筈ですが、総会の議題にも、「TWO-FORTY」の原稿について取り上げ、今後の方針を決めていただきたいものと思っています。

また、今年は、関東モービルHAM同好会のホスト役があります、例年は、数局の有志が参加していますが、今年は、多くの局に参加していただきたいと思ひます、勿論、準備段階のお手伝いもよろしくです。

次号以降も、もっと充実した紙面にしたいと思ひますので、多くの方の寄稿をお願いいたします。(今号も私の駄文で、ページを埋めました) (A)

原稿は、どんな内容(無線に関係無くても)でも結構です、枚数は問いません、できれば、そのまま印刷できるように、B5版にワープロでお願いします。(勿論手書きでも、EメールでもOKです)

但し、編集部が掲載不適と判断した場合、お断りすることもあります。

発行日	2003年 3月 16日
発行者	50.240MHz SSBモービルグループ
代表	J J 1 S X A (池) jj1sxa@jarl.com 〒190-0031 立川市砂川町5-27-7
編集者	TWO-FORTY編集有志各局
代表	J K 1 O X Y (天野) oxy@mm.neweb.ne.jp 〒184-0015 小金井市北町1-26-33

許可無く本誌掲載記事の無断転載を禁止します